

プロジェクト課題活動実績

課題名：黒潟地区における新たな受け皿法人育成支援

農林事務所農業部 チーム員：橋本、和田、吉村

<活動事例の要旨>

山口市秋穂黒潟地区では、担い手への農地集積加速化や農業の高付加価値化のための大区画化や水田高機能化等を実現するため「農業競争力強化基盤整備事業」に取り組んでいる。当該事業計画は、130haの1団の農地整備するもので、地域では担い手への農地集積率目標を75%とし、その中心的な担い手として、法人の設立が計画されている。

これらを進めるため、黒潟地区ほ場整備推進協議会の中に法人設立を検討するため設置された「黒潟地区法人設立準備会」の活動を支援し、地域の合意形成を推進した。

1 普及活動の課題・目標

- 黒潟地区法人設立準備会の活動支援
- 法人設立に向けた法人化計画の作成

2 普及活動の内容

(1) 黒潟地区法人設立準備会の活動支援

- ・本年度の目標及び年間スケジュールを提案し、協議の方向性を明確化し協議の促進を図った。

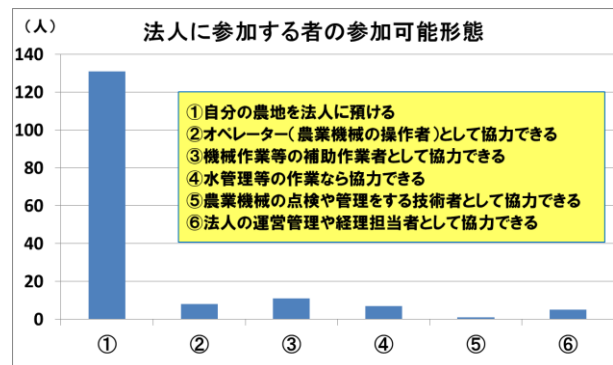
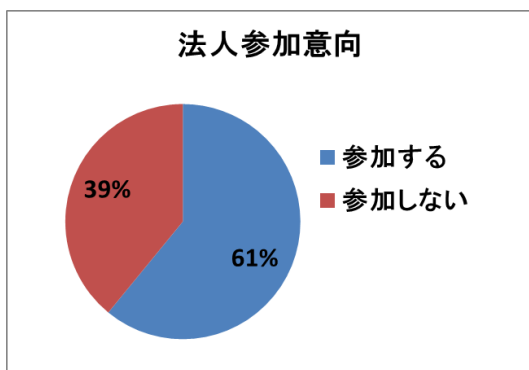
(2) 法人設立に向けた法人化計画の作成支援

- ・法人経営の概要検討
栽培品目等の計画を検討経営シミュレーションにより検討を行った。

3 普及活動の成果

(1) 黒潟地区法人設立準備会の活動支援

- ・法人設立までのイメージと本年度のスケジュールの明確が図った。
- ・今後の具体的な計画を策定するための基礎となる法人参加者を調査するためにアンケート調査について提案した。
準備会でアンケート内容等が検討され、平成27年12月に実施された。
- ・アンケート結果



ほ場整備事業における不換地希望者が多く、法人へ参加しないと回答した人が多い結果となった。このため、再度、地域での話し合が進められ法人への参加意向者が一定数増加した。

また、法人への参加形態を聞いたところ、農地を預けるだけの人が多く、今後法人運営にたずさわる人を発掘する必要があることが確認できた。

- これらの、アンケート調査結果を踏まえ、法人設立参加者による新たな協議会を立ち上げ、法人の具体的な検討を実施することで地元合意が図られた。

(2) 平成29年度法人設立に向けた法人化計画の作成支援

- 法人経営の概要検討

栽培品目等の計画を検討経営シミュレーションを実施した。

水稻・麦・大豆を基幹作物として体系を進めることとなった。

また、地代等の課題についても一定の方向性が合意された。

- 地元説明会の実施

経営シミュレーション等を踏まえ、「黒潟地区における集落営農法人の基本的な考え方について」を法人設立準備会でとりまとめ、地元5カ所の集会所で説明会を開催し、一定の理解を得た。



4 今後の普及活動に向けて

- より具体的な法人の経営計画を策定するため、法人参加者による新たな協議会を設立し検討を進めて行く。

- ほ場整備事業は順次完成するため、ほ場整備事業の進捗状況に合わせた、経営計画を策定し行く必要がある。

特に、機械の整備計画については綿密な計画が必要となるため、ほ場整備事業所管担当部所、JA、市等関係機関の連携を強化して支援をしていく。